



平成 30 年 8 月 10 日

西条の仕込み水を使って新ラドン分析法の実証実験を行います
～温泉や名水の調査に威力を発揮～

亀齢酒造の仕込み水を使って、下記の日程で新ラドン分析法の実証実験を行います。

今回の実証試験は、中央温泉研究所（東京）が実施します。亀齢の仕込み水から少量の水を採取し、各分析機関に送って、ラドンの分析を行ってもらいます。亀齢の仕込み水のラドン濃度はあらかじめ分かっていますので、結果をとりまとめてどれくらい一致するかを検討します。参加する分析機関は約 35 機関の予定です。

温泉や名水の地下水ラドンの分析は、指定を受けた各都道府県の公的分析機関で行われます。ラドンの分析法として、従来の液体シンチレーションカウンター法に加えて平成 27 年 3 月に「ガンマ線スペクトロメトリ法」が新しく追加されました。

ガンマ線スペクトロメトリ法とは、ゲルマニウム半導体検出器を使用して地下水に含まれるラドン娘核種からのガンマ線を測定してラドンを分析する方法です。この方法は、測定の精度が高い上、処分に困る廃液が出ないなどの長所があります。

記

【日 時】 平成 30 年 8 月 20 日（月）9 時 30 分～12 時

【場 所】 酒蔵通り亀齢酒造仕込み水（万年亀井戸）にて
（東広島市西条本町 8-18）

【説明者】 静間 清（広島大学客員教授）

【お問い合わせ先】

広島大学大学院工学研究科 客員教授 静間 清
Tel : 090-5266-4764
E-mail : shizuma@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 1 枚（本票含む）